

月日の経つのは早いもので、もう師走です。今年は何といても記録的猛暑が強烈な印象として残っています。12月号では、私の議員活動のあらましと参加した各種イベントについて報告し、今年を振り返ることにします。

## 阿賀野市が合併して20周年を迎えます。 活気に満ちた阿賀野市創造に全力を尽くします!!

新潟県議会議員 帆苅 謙治

阿賀野市は、平成16年4月1日に2町2村(旧水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村)が合併してから20年を迎えます。旧町村の個性特色を生かしつつ、総合力の発揮できる阿賀野市にしていかなければなりません。さて、12月号では、県議会での活動概要と県議会外活動の一端について報告します。また、今年の猛暑に鑑み、稲作の高温障害に対する私見を述べます。

### 1. 県議会での活動

#### ① 県議会所属委員会

- ・ 常任委員会
- 「産業経済委員会」委員
- ・ 特別委員会
- 「人口減少問題対策特別委員会」委員長

#### ② 定例会、臨時会

- ・ 2月定例会(会期31日間)
- ・ 5月臨時会(会期1日)
- ・ 6月定例会(会期18日間)
- ・ 9月定例会(会期22日間)
- ・ 12月定例会(会期21日間、現在開会中)

#### ③ 9月定例会「人口減少問題対策特別委員長報告」(概要)

#### 主題

地域の活性化につながる交

流人口拡大の取組、質疑項目は次のとおり

- ・ 自然減の抑制に向けた取組
- ・ 交流人口拡大の取組による人口増加への効果、他3項目

#### 主な意見

地域の文化施設は当該地域の魅力発信や観光資源の役割も期待される。県として、効果的な予算執行による地域の事業支援はもとより、民間や市町村との一体化による地域の賑わい創出につながる活性化に取り組む。



県議会での質問状況

#### ④ 県議会議員選挙

2月定例会閉会後の3月31日告示の県議会議員選挙において、無投票での連続9回目の当選を果たすことができました。改めてご支援頂いた市民の皆様にご感謝申し上げます。

これからの3年余り、阿賀野市活性のため県、市と連携し身を粉にして活動してまいります。

### 2. 県議会外での活動

#### ① 「にいがた瓦館」オープン

安田瓦協同組合が令和3年より3か年計画で進めてきた「やすだ瓦ロード」再整備事業の1つである「にいがた瓦館」愛称かわらティエ」が7月30日にオープンしました。



県議選告示日の第一声(3月31日)



にいがた瓦館のオープン(テープカット)

「つよく、かわらず、うつくしく」をモットーとした安田瓦を見て触れて体験する施設

です。

既に完成した「やきもの広場」、「かわらロード」、そして隣接する「瓦テラス」等と一体となつて多くの人から訪れてほしいものです。

オープン前日の29日には竣工式が執り行われました。私もお招きに預かり、斎藤衆議院議員、花角県知事、田中市長、市川市議会議長そして安田瓦協同組合関係者の皆さんと盛大にお祝いしました。



内覧会での遠藤理事長と花角知事

竣工式後の内覧会では、立派な施設を拝見してその素晴らしいさに感動すると共に改めて安田瓦の魅力について実感した次第です。今後とも、微力ながら安田瓦の販路拡大に尽力致します。

それでは、私から施設の紹介をしましょう。

#### ① 施設外観

まずは、広い駐車場と南欧風の屋根(もちろん安田瓦)

の真新しい瀟洒な建物が目を引きます。そして中へ。

2 エントランス

エントランスに入ると、古い瓦を再利用した芸術的な幾何学模様の壁面、床には朱色等の釉薬を用いて焼成した美しく滑りにくい陶板、外からのアプローチには破碎された瓦を再利用した歩経路など、安田瓦の特色がふんだんに味わえます。



安田瓦を応用した各種作品

また、各部屋の名称を示す瓦製の名板が何ともユニークです。

3 体験室

広々とした体験室では、誰でも自由に「ミニ鬼瓦」を創ることが出来ます。



体験室(WORKSHOP ROOM)

型に粘土を押し込んでから抜き出し、1時間程かけて思い思いの形に仕上げます。その後、十分な自然乾燥、焼成を経て完成します。

まさに、自分だけのオリジナルな作品です。約2ヶ月位後に自宅へ送ってもらえるとのこと。

他にも、立派な展示室、会議室等を備えており、充実した施設です。市民の皆さんも是非訪問してください。

② 阿賀野市合併20周年記念式典

9月24日、「道の駅あがの」において、阿賀野市合併20周年記念式典が行われました。



市長、市議会議長とともにお祝いの言葉を述べさせていただきました。阿賀野市はご承知のとおり、平成16年に当時の水原町、

安田町、笹神村、京ヶ瀬村の、各方面で結びつきの強い、南部郷4町村が合併して誕生しております。

私事で恐縮ですが、50数年前の羽越豪雨災害という、大きな災害を経験し、洪水災害を何とかして減らしたいという思いで、県議会議員を拝命してからは国と県、市のつなぎ役を務めてまいりました。

河川の改修が進み、いまを迎えていることを考えると、感慨深いものを感じています。また、49号バイパスの部分

開通という、新潟県東部産業団地と大消費地の新潟市を結ぶお手伝いをさせていただきました。

今日はまた、阿賀野市の将来を託す4



中学校のブラスバンドの皆さんの力強い演奏を聴き、思いを深くいたしました。式典の締めくくりとして色とりどりの風船を青空に放ちました。

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

けんじの勝手考

稲作の高温障害

こいつて

私は、安野川を始めとする各河川の湛水防除事業、ほ場整備の推進により、農地の水害抑制、整備、規模拡大に取り組んできました。しかし残念ながら、今年の新潟県の作況指数は95(やや不良)となり、1等米の比率も激減しました。

原因は今夏の記録的猛暑にあります。今後とも気候変動による温暖化傾向は続くものと予想されます。

やはり、新之助などの高温障害に強い品種の作付けを拡大し、収量と品質の安定確保を図る必要があると考えます。

また、人手不足や収益力向上対策も加味して新たな技術導入も検討すべきです。

次に示す技術にはまだまだ実用化に至らない、または新潟に適さないものもあるかもしれませんが、各種研究機関の専門家と連携し、

新しい技術導入に積極的に取り組んで頂きたい。

そのためのお手伝いは何でもします。

・二番穂刈取り「再生二期作」による収量の大幅増

生産性向上対策

・春の育苗、田植えを行わない「初冬直まき」による

農作業の季節集中緩和

↓ 労力の平準化、

人手不足対策

毎年安定した収益を変わらずに維持、確保するためには、自然や社会環境の変化(温暖化の進行、少子高齢化による人手不足等)に的確かつ柔軟に対応することが重要であると考えます。

来年が皆様にとって良い年となるようお祈り申し上げます。

活動動画を発信しています。

大勢の方から沢山の反響を頂いています。



阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。
特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字程度です。
ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
http://www.hokaken.jp/